

2024年12月24日

報道関係各位

GMO インターネットグループ

GMO インターネットグループ、 Claude で「AI 熊谷正寿」を実現へ ～「GMO Brain AI プロジェクト」第1弾、全パートナー即時アクセス可能へ～

“すべての人にインターネット”をコーポレートキャッチに、インターネットインフラ、広告、金融、暗号資産事業を展開する GMO インターネットグループ（グループ代表：熊谷 正寿）は、2024年12月24日（火）に、独自 LLM でパートナー（従業員）の意思決定を加速する新プロジェクト「GMO Brain AI プロジェクト」第1弾となる社内向け独自 AI ツールの提供を開始しました。

本ツールは、熊谷正寿の思考やフィロソフィーと GMO インターネットグループのカルチャーが集約・言語化された「GMO イズム」を学習した“バーチャル知的ナビゲーター”です。

パートナーはいつでも必要なときにチャットボットを通じて対話を行うことで、事業における意志決定のさらなる高速化が可能となります。

GMO Brain AI プロジェクト 第1弾 「AI 熊谷正寿」を実現へ

GMO



【「GMO Brain AI プロジェクト」の背景】

■ AI を活用し削減した 100 万時間^(※1) で新たな価値創造を実現

GMO インターネットグループは「AI で未来を創る No.1 企業グループへ」を掲げ、生成 AI をはじめとする AI 技術の活用を進めています。その結果、2024年9月にはグループ全体での2024年における合計業務削減時間が推定 100 万時間^(※1) を突破しました。

この削減時間を活用し、新たな価値創造を実現することを目指し、社内ナレッジを最大限に活用できる本ツールを独自開発しました。

本ツールでは、2種類のバージョンを提供します。1つ目は、大規模言語モデルを活用して社内データを広い視点で分析する「安定動作版」。2つ目は、最新の API を使用し、より正確で詳細な情報を提供する「β版」です。この2つを併用することで、パートナーの教育や業務の効率化を促進し、仕事の質を向上させます。

(※1) GMO インターネットグループ、生成 AI 活用により 2024 年の合計業務削減時間 100 万時間を突破！

<https://www.gmo.jp/news/article/9185/>

■必要なときにいつでもアクセス可能な「GMO イズム」の指南役

本ツールは、グループ代表の熊谷のノウハウや経営哲学と GMO インターネットグループのカルチャーをまとめた「GMO イズム」を熟知する“バーチャル知的ナビゲーター”です。

パートナーは、チャットボットとの対話を通じて、GMO インターネットグループが培ってきた理念・哲学・ナレッジを活用可能です。仕事上の悩みはもちろん、策定した事業プラン、そしてプロモーションプランなどに対して、いつでも「GMO イズム」にもとづいた適切なフィードバックやアドバイス、評価を受けることができます。

本ツールを組織横断的かつリアルタイムに活用することによって、迅速な意思決定と組織全体の知的生産性向上につなげ、「AI で未来を創る No.1 企業グループへ」の実現を加速させてまいります。

【開発とアウトプット精度について】

■社内 AI 推進チームが開発を主導し「GMO イズム」を大規模言語モデルへ最適化

GMO インターネットグループが長年培ってきた社内哲学・経営ノウハウを集約した「GMO イズム」において、AI 利活用を推進する専門チーム「AI しあおうぜ！」主導により、手作業でのデータクリーニング(AI の学習に必要な情報の抽出・整理・正規化)を実施し新時代のサポートツールの完成を実現しました。

■若手人工知能専門家も開発に参加

本ツールの開発にあたり、2022 年度人工知能学会研究会優秀賞に採択されたパートナー、ならびに東京大学大学院で人工知能を専門に研究を行っていたデータサイエンティストとして活躍するパートナーなど、人工知能を専門とする若手エンジニアもアドバイザーとしてプロジェクトに参加。GMO インターネットグループ全体を横断した取り組みで誕生しました。

■“フィロソフィー推進チーム”による精度評価

本ツールの精度評価および監査は、GMO インターネットグループの企業理念「スピリットベンチャー宣言」を推進し、シナジー促進と効率的な業務運営を目指すいわばフィロソフィーの推進部署である「グループ SV・シナジー推進室」が担当しました。「GMO イズム」に精通した講師が行う社内研修に匹敵する精度の高さを確認しております。

■精度評価・監査を担当したグループ SV・シナジー推進室 加藤雄大のコメント

「GMO イズムは完全に理解するには数年かかる多層的、かつ多角的なドキュメント集ですが、この AI チャットを利用することにより、適切なアドバイスを入社後すぐに得られます。この事は、GMO インターネットグループ全体の成長スピードの加速に大きな力となると確信しています」

【技術的ポイント】

■「GMO イズム」を大規模言語モデルへ最適化

本ツールの開発にあたり、GMO インターネットグループが長年培ってきた社内哲学・経営ノウハウを集約した「GMO イズム」に対し、AI 利活用推進チームメンバーによる、手作業でのデータ拡張・整備による高質のデータ作成、プロンプト調整を行い、高いアウトプット精度を実現しました。

■「In-Context Learning」を採用し、高精度なアウトプットを実現

「In-Context Learning (インコンテキストラーニング 以下、ICL)」では、与えられた入力の内容に基いて入力されたタスクを理解し、柔軟かつ高精度なアウトプットを可能とします。

本ツールの開発では、この「ICL」を採用し、約7万6000トークンにおよぶ最適化された専用データを作成しました。検索拡張生成（RAG）で作られた同様の用途の社内ナレッジツールに比べ、より深く、多面的な分析を実現しています。また、モデルの切り替えが容易で、Claude だけではなく、最新版のChatGPTやGemini等への対応も可能なのが「ICL」利点の1つです。

さらに本ツールの開発で得られた「ICL」でのデータ整備の知見は、GMOインターネットグループ内のAI特化の独自SNS「GMO Genius」で共有され、グループ全体のサービス提供、既存サービスの質向上に繋がる、大きな力となります。

【「GMOイズム」とは】

GMOイズムとは、GMOインターネットグループが掲げる不変の目標「スピリットベンチャー宣言」をはじめ、リーダーの心得、勝利の法則などをまとめたものです。これは一般的には企業理念に相当しますが、全パートナーが定期的に唱和し、心に刻み込み、実践し、コーポレートキャッチである「すべての人にインターネット」を実現するための指針としています。

●参考：スピリットベンチャー宣言 <https://www.gmo.jp/brand/#philosophy>

【GMO Brain AI プロジェクトリーダー 李 奨培（り じゃんべ） コメント】

今回私たちが取り組んだプロジェクトは、グループ内のナレッジ資産を分析・類推し回答を生成する「AI 熊谷正寿」をパートナー全体で活用できる状態にするだけの、単純なものではありません。このプロジェクトで得られた知見を、GMOインターネットグループ内に随時共有し、成長することが真の目的です。そして、グループ一丸となり、助け合い、各社のAI活用をさらに加速させていくことにこそ、本当の意義があると思っています。最終目標は全パートナーがいつでもどこでも相談できるASIの実現ですが、今回の取組はその大きな一歩になったと確信しています。



【GMOインターネットグループについて】

GMOインターネットグループは、ドメインからセキュリティ、決済までビジネスの基盤となるサービスをご提供するインターネットインフラ事業を軸に、インターネット広告・メディア事業、インターネット金融事業、暗号資産事業を展開する総合インターネットグループです。

また、「AIで未来を創る No.1 企業グループへ」を掲げ、グループ全パートナーを挙げて生成AIを活用することで、① 時間とコストの節約、② 既存サービスの質向上、③ AI産業への新サービス提供を進めています。^(※2)

お客様に喜ばれるサービスを迅速かつ低価格で提供するために、サービスは機器の選定から設置、構築、開発、運用までを内製化することを基本方針としています。そのため、グループ110社以上に在籍する約7,500名のパートナーのうち、ITのモノづくりを担う開発者（エンジニア・クリエイター）が50%を超えています。（2024年9月末時点）

(※2) 参考URL 「AIで未来を創る No.1 企業グループ」実現への取り組み <https://www.gmo.jp/ai-history/>

GMOインターネットグループで実施するAI活用促進の例については別紙に記載しております。

GMOインターネットグループ、Claudeで「AI熊谷正寿」を開発・社内に展開～「GMO Brain AI プロジェクト」第1弾、全社員24時間アクセス可能へ～
というプレスリリースのタイトルは「GMOイズム」の視点でどう改善すればいいですか？



「GMOイズム」の視点から、このプレスリリースのタイトルは以下のように改善できます：

「GMOインターネットグループ、Claudeで「AI熊谷正寿」を開発・社内展開～「GMO Brain AI プロジェクト」第1弾、全パートナーの活用で新たな価値創造へ～」

改善のポイントは以下の3点です：

1. 「全社員」を「全パートナー」に変更しました。GMOイズムでは従業員を「パートナー」と呼びます。
2. 「24時間アクセス可能」という表現を削除しました。これは「スピリットベンチャー宣言」にある「心と身体の健康がよい仕事の大前提」という考えに基づいています。
3. 「新たな価値創造へ」という表現を追加しました。これはGMOイズムが重視する複利の概念を反映し、このプロジェクトが継続的な成長と価値創出につながることを示唆しています。

この改善案は、GMOイズムの精神を反映しつつ、プロジェクトの目的と意義を簡潔に伝えています。

回答の生成例

フィロソフィーを理解した上での確かなアドバイスを行う

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 山崎

TEL : 03-5456-2695

問い合わせフォーム : <https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/>

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)	
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー	
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿	
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業	■インターネット広告・メディア事業
	■インターネット金融事業	■暗号資産事業
資 本 金	50 億円	

Copyright (C) 2024 GMO Internet Group, Inc. All Rights Reserved.

【別紙 : GMO インターネットグループで実施する AI 活用促進の例】

■①時間とコストの節約

- 2023 年 4 月より賞金総額 1,000 万円の社内公募コンテスト「AI (愛) しあおうぜ! ChatGPT 業務活用コンテスト」を実施。AI に関する取り組みや新サービスへつながる作品が集まり、多くがサービス提供・実装しました。
- AI に関する最新動向や最新ツールの理解を深める、専門家による「GMO AI セミナー」を定期開催しています。
- AI に関するグループ内のポータルサイト「GMO Genius」を立ち上げ、プロンプトや GPTs の共有、その他情報共有等を行い、グループ内の「AI ナレッジ」の共有を図っています。
- 非エンジニアを対象としたリスティング施策として、社内の有識者が講師となり、3 か月間の短期 AI 人材育成プログラム「虎の穴」を実施しています。
- 全パートナー受験必須の AI テスト「GMO AI パスポート」を実施しています。また、中途採用における選考で AI に関する課題を実施しています。
- Slack 上で使える「ChatGPT」等のアプリを提供し、情報が学習されないクローズドな環境で、有料ツールを利用できる環境を提供しています。

■②既存サービスの質向上

AI を活用し既存サービスへの機能追加による質の向上を測っています。生成 AI による文章や画像の生成等により、ドメイン、ホスティング、EC、広告、メディア、セキュリティ等幅広い領域でお客様にこれまで以上に利便性の高いサービスをご提供しています。詳しくはこちら (<https://www.gmo.jp/ai-history/>)

■③AI 産業への新サービス提供

AI 産業を盛り上げるべく AI スタートアップの支援を進めています。

- 2023 年 5 月に、ハンズオン型 CVC「GMO Web3 株式会社」を、「GMO AI&Web3 株式会社」へと社名変更し AI スタートアップ支援を拡大しています。すでに、有望な AI スタートアップへの支援を実施しています。
- NVIDIA 社の GPU「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」「NVIDIA L4 Tensor コア GPU」を搭載した AI 開発者向けの GPU ホスティングサービスを開始しました。(<https://www.gmo.jp/news/article/8677/>)
(https://ir.gmo.jp/pdf/irlibrary/gmo_disclose_info20240213_06.pdf)
- AI 専門家とともに「GMO 教えて AI 株式会社」を設立し、生成 AI プロンプトポータルサイト「教えて AI」を開始しました。(<https://oshiete.ai/>)
- 2024 年 6 月に、GMO AI&ロボティクス商事株式会社 (通称 GMO AIR) を設立し、AI とロボット・ドローンの導入・活用支援を軸とした新たな事業を開始しました。(<https://www.gmo.jp/news/article/9010/>)
- 2024 年 11 月に、「NVIDIA H200 Tensor コア GPU」と「NVIDIA Spectrum-X」イーサネット ネットワーキング プラットフォームを採用した「GMO GPU クラウド」の提供を開始しました。
(<https://www.gmo.jp/news/article/9271/>)